



マルト便

MARUTO INFORMATION

お客様の笑顔のために ... チャレンジ!

maruto-shoji.co.jp

ホームページにバックナンバー掲載中



🍁 ごあいさつ

皆さま、こんにちは。

9月は、秋雨前線の停滞に加え、台風第24号、第25号、第26号が相次ぎ、各地で大雨や強風による被害が発生しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。農業現場だけでなく、道路や物流にも影響が及び、気象災害が私たちの仕事と暮らしに直結していることを改めて感じる1か月となりました。

☁️ 9月の天候と野菜への影響

9月の長雨による影響は、浸水などの直接被害ではありません。土壌水分が高い状態が続くことで、播種や定植、収穫作業が遅れます。また、日照不足は光合成を抑え、葉物では生育不良や小玉化、果菜類では着果数の減少、果実肥大や着色の遅れにつながります。農林水産省の10月見通しでも、こうした影響が、はくさい、レタス、ほうれんそう、きゅうり、なす、トマト、ピーマンなど幅広い品目に表れています。

10月に晴天が戻っても、すでに遅れた生育や減少した着果数を短期間で取り戻すことは難しく、葉物・果菜類はしばらく入荷量が伸びにくい状況が想定されます。産地や品種ごとの状況を細かく確認し、早めに調達計画を立てることが重要です。

🍎 国産玉ねぎの状況と10月の見通し

国産玉ねぎは、北海道産が出荷の中心です。農林水産省の10月見通しでは、北海道産の生育は概ね順調で大玉傾向にあり、出荷数量は平年を上回り、価格は平年を下回って推移する見込みです。関東の葉物・果菜類が天候の影響を受ける一方、玉ねぎは比較的安定した供給が見込まれます。

北海道でも9月上旬の豪雨により物流が混乱し、一時的に入荷量が少ない状況が続きました。現在はインフラも復旧しており、今後は供給量の増加に伴い、相場も調整局面に入るとみています。10月に入り、産地での収穫・倉入れ作業は最終盤を迎えました。例年並みであれば10月中旬頃には倉入れが完了し、今シーズンの全体数量が確定する見込みです。

当社としては、目先の価格だけで判断するのではなく、産地の継続的な生産とお客様への安定供給の両立を重視し、数量・規格・品質を含めた提案に取り組んでまいります。

🌐 輸入玉ねぎの動き

現在、中国産玉ねぎは甘粛省産が中心です。作付面積は前年に比べ20～25%減少しており、中国国内相場はやや高値で推移しています。一方、現時点では韓国などから大口の引き合いが入っておらず、北海道産玉ねぎの豊作傾向を受けて日本からの需要もひと段落していることから、今後の価格は軟化すると予測しています。米国産は作柄が良好なものの、円安の影響もあり、日本国内での流通は限定的になるとみています。

当社では、それぞれの特長と供給リスクを見極め、お客様の用途・品質・コストに合った原料を提案してまいります。

🏭 中国剥き玉ねぎ工場視察のご報告

9月10日から12日にかけて、当社が取り扱う剥き玉ねぎの加工事業者を訪問するため、中国を訪れました。私自身、久しぶりの中国訪問となりましたが、工場視察を通じて、剥き玉ねぎの加工方法や品質管理など、多くのことを学ぶことができました。

今回は2社を訪問しましたが、いずれも明確な方針のもとで事業を運営されており、見習うべき点が数多くありました。

輸出用の剥き玉ねぎをはじめ、ダイスカットなどの二次加工品や冷凍品を製造・出荷するためには、それぞれの輸出先が求める品質基準を安定して満たし続ける必要があります。品質をしっかりと担保したうえで、経済性と生産効率を追求する姿勢が大変印象に残りました。

今回の視察で得た学びを当社のものづくりにも取り入れ、よりお客様に喜んでいただける商品づくりに生かしてまいります。

🍏 青果物市況（農林水産省・令和8年10月見通し）

農林水産省の10月見通しでは、9月の長雨と日照不足の影響を受け、葉物・果菜類を中心に平年を上回る価格が見込まれています。一方、北海道産のばれいしょ・玉ねぎは生育が順調で、出荷量は平年を上回り、価格は平年を下回る見通しです。

■ 相場が強含み（高値傾向）となる見込みの品目

- ・はくさい：長野県産で長雨と日照不足による生育不良・歩留まり低下がみられ、価格は平年を上回る見込み
- ・レタス：長野県・群馬県・茨城県で生育不良や遅れがみられ、価格は平年を上回る見込み
- ・ピーマン：長雨と日照不足により着果数の減少や果実肥大の遅れが発生し、価格は平年を上回る見込み
- ・ほうれんそう・ブロッコリー・きゅうり・なす・トマト：播種・生育・果実肥大・着色などの遅れにより、価格はやや平年を上回る見込み
- ・だいこん・キャベツ：10月前半は平年並み、千葉県産の生育遅れなどから後半はやや平年を上回る見込み

《裏面に続く》

■ 相場が弱含み（安値傾向）となる見込みの品目

- ・たまねぎ：北海道産は生育順調で大玉傾向。出荷数量は平年を上回り、価格は平年を下回る見込み
- ・ばれいしょ：北海道産は生育順調で大玉傾向。出荷数量は平年を上回り、価格は平年を下回る見込み

■ 平年並みで推移する見込みの品目

- ・にんじん・ねぎ：主産地の生育は概ね順調で、出荷数量・価格とも平年並みの見込み
- ・さといも：長雨により収穫作業の遅れはみられるものの、出荷数量・価格は平年並みの見込み

📊 10月の総評

10月は、北海道産の玉ねぎ・ばれいしょが潤沢に出回り、土物類の価格が落ち着く一方、9月の長雨と日照不足の影響を受けた葉物・果菜類は、入荷量が伸びにくく、強含みで推移する見通しです。品目による価格差がはっきりと表れる月になりそうです。

特に関東産は、圃場の過湿による作業遅れと日照不足による生育遅れが重なっています。見た目の天候が回復しても、出荷への影響は遅れて現れます。

当社では、産地から得られる現場情報と公的な統計・見通しの双方を確認し、お客様へ早めに共有してまいります。

📖 編集後記

9月は雨の日が本当に多く、気象庁によると関東甲信の月降水量は平年比 259%、日照時間は 44%でした。この数字を見ると天候の異常さが改めて明確になります。確実に野菜流通に影響がでます。

一方、北海道産の玉ねぎやばれいしょは順調で供給に余裕があります。不足する品目だけに目を向けるのではなく、潤沢な品目を上手に活用し、産地と需要先を結ぶことも私たちの大切な役割です。

被災された地域の日も早い復旧を願うとともに、今後も現場の声と客観的なデータを丁寧に確認し、皆様の判断に役立つ情報をお届けしてまいります。今月もマルト商事をどうぞよろしくお願い申し上げます。

株式会社マルト商事 代表取締役 戸澤 周一
ホームページ：www.maruto-shoji.co.jp

10月の玉ねぎを使ったおすすめ料理

玉ねぎとほうれん草、玉子のチキンサラダ

玉ねぎとほうれん草はそれぞれビタミンも豊富で冷房による冷えや紫外線による肌ダメージなど夏の終わりの体にはとても効果的です。和風味にチキンと半熟茹で卵が相まって栄養も満点なサラダです。

<材料 2〜3人前>

- ・玉ねぎ 大 1/2 個
- ・ほうれん草 1 束
- ・サラダチキン 1 袋
- ・卵 2 個
- (A) ・マヨネーズ 大 4
- ・すりごま 大 3
- ・麵つゆ (3 倍濃縮) 小 2
- ・醤油 小 2
- ・鰹節 (小分けのもの) 1 パック
- ・胡椒 少々

<作り方>

- 1) 半熟茹で卵を作り皮を剥いておく。
- 2) ほうれん草を 5cm 幅程に切りサツと茹で (葉の色が鮮やかになれば OK) 水でシメて固く絞っておく。
- 3) 玉ねぎを薄くスライスし軽く酢水にさらした後水を切り固く絞っておく。
- 4) サラダチキンを手で適当な大きさに裂く。
- 5) 混ぜ合わせた (A) のボウルに 1)、2)、3) を投入し、ザックリ混ぜ合わせ盛り付ければ完成。

♪ポイント



半熟茹で卵は沸騰したお湯に冷蔵庫から出した冷たいものをオタマなどでそっと入れ 9 分茹で上がった後流水で冷やしながら水の中でひびをいれて剥くとツルツと綺麗に剥けます。



料理研究家 長尾涼子

「家族がよろこぶごちそう」をコンセプトにレシピ開発。子育て経験を活かした、誰もが作りやすく栄養バランスのよいレシピを得意とする。